



Title	職場・業務紹介 生物資源生産学専攻生物生産工学講座
Author(s)	和田, 友則
Citation	北海道大学大学院農学研究科技術部研究・技術報告, 9, 32-32
Issue Date	2002-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/35434
Type	bulletin (article)
File Information	9_p32.pdf



[Instructions for use](#)

<職場・業務紹介>

生物資源生産学専攻 生物生産工学講座 和田 友則

◆職場紹介

私は、2001年4月北海道大学大学院農学研究科・生物資源生産学専攻・生物生産工学講座に採用となり、もうすぐ1年が過ぎようとしています。

この講座では、車両系機械、ほ場作業機械の自動化による省力・省人化と作業体系、収穫後の工程における農産物の品質保持と量的損失防止、および持続的生物生産を実現する農業システムに関する研究を行っています。

◆仕事内容

私の主な仕事は、学生実験・実習の機械操作方法の指導ならびに補助、実験装置の製作、農機実験室にある工作機械の維持管理作業等です。

一番目の学生実験・実習の内容は、三年生の農業機械実習で水田や畑を用い、様々な作物（例えば、水稻、ビート、馬鈴薯等）をトラクタや各種作業機を使用して、耕起、播種、移植、除草間引き等をして栽培し、収穫作業をしました。それが終わりますと、機械工作実習が始まり、旋盤、フライス盤、ボール盤等の工作機械を使用して切削加工を行います。それから、布やすりで工作物を磨き、その手仕上げによって、文鎮が図面通りに完成するようにします。

二番目の実験装置の製作では、教官の研究や卒論で、主にトラクタに実験装置等を載せられるように製作することをしました。三番目の農機実験室にある工作機械の維持管理作業というのは、工作機械がいつでも精度良く使えるように清掃しておくことです。

◆設備

旋盤、フライス盤、アーク溶接機、ガス溶接機、スポット溶接機、プラズマ切断機、卓上ボール盤、直立ボール盤、火床、エアーハンマー、ホイストクレーン、グラインダー、ベルトサンダー、コッターマシン

◆今後の方向または希望

私は今年度、今野さんや若沢さん等たくさんの優しい先輩方に仕事を基本から一つずつ丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。しかしながら、農学を全然知らなかった私にとっては、何もかもが新しいことでまず農業用語を覚えることに苦労しました。さらに、実験装置を要求通りに作ることは至難の業でしたので、その結果、工作物を要求通りできなく、出来上がるまで待っていただくこともありました。それで、これからも先輩方の良きアドバイスを頂いたり、技術研修会等に参加させて頂き、自分の技術知識を増やして行きたいと思っております。そして、早く一人前の社会人になれるよう頑張りたいと思っておりますので、これからも宜しくお願い致します。